

『週刊現代』 2010年2月19日号 スクープレポート：相続税は最高税率80パーセントになる  
42～46ページ

「相続税増税の効用は、格差解消だけではありません。相続税を払うくらいなら遺産として残すより自分で使ったほうがいいと考える高齢者が消費を増やして、景気が刺激される。

日本人の場合は自分の老後を見てもらいたいという動機で遺産を残す人が多い。相続税が上がって贈与税率との差が大きくなると、生前贈与で子どもに財産を渡す人が増え、消費欲の高い若者がまた経済を活性化させる。これで景気が良くなれば、消費税や所得税の税収も増えて財政赤字が縮小される。まさに一石二鳥以上の成果が得られるのです。

しかも税率はより高くしたほうが効果は大きい。10人に1人ほどが相続税を支払う程度まで基礎控除を下げた上、一気に最高税率を80%まで上げるという方法をとってもいいでしょう」（大阪大学教授のチャールズ・ユウジ・ホリオカ氏）